

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】特開 2005-140261 (P2005-140261A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-021
 【出願番号】特願 2003-378240 (P2003-378240)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 33/78 (2006.01)

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

F 1 6 C 33/66 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/78 Z

C 0 9 K 3/10 M

F 1 6 C 33/66 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上記のフッ素ゴムを使用しても、フッ素ゴムの経時劣化を抑えることが困難であるという問題がある。

シール部材に用いられているゴム弾性体が硬化するとシール性が悪化するため、グリースの漏洩が発生し、軸受寿命が短くなる問題を生ずる。また、シール面での接触圧力が高くなり、軸受の回転トルクが大きくなったり、それにより摩擦発熱し、グリースの劣化がいつそう進むことになる。

【特許文献 1】特開 2 0 0 1 - 6 5 5 7 8 号公報